

くらしの相談を
お気軽に

日本共産党 木津川市議員団 ニュース

2026年5月31日 第780号

□日本共産党木津川市議員団



宮嶋良造 Tel/Fax73-0920、090-7094-2647



西山 さち子 Tel/Fax26-4382



学校給食は教育の一部

無償化はみんなの願い

宮嶋 良造

5月23日(土)に市議会

主催の「市民と議会のつどい」が市内3カ所で開催されました。参加いただいたみなさんに感謝申し上げます。

私が参加した加茂会場で学校給食費が1つのテーマになりました。「4月から小学校の給食費は無償と聞いていたが、木津川市では月額500円の保護者負担がある。中学校では保護者負担が増えた」と聞いている。市議会はどういう議論があったのか。これは当然の疑問です。あらためて考えてみます。

給食費はいくらなの

市民が納めたり払う税金・手数料・利用料は、法律や条例・規則などで決められています。学校給食費もそうだろうと市の「例規集」(地方自治体が業務を行うために必要な規則やルールをまとめた文書集、市ホームページに掲載)を見ると、市学校給食センター条例「第9条 給食費は、月額とし、運営委員会に諮って教育委員会が決定する。」と書かれています。運営委員会とは、学校給食センター運営委員会のことで、校長・園長、教

育委員、PTA会員の代表で構成されています。条例に給食費の額は記載されていません。理由は、市民と議会のつどいでは、学校給食会計(収入は

公会計		私費会計		
管理規定	各自治体の財務規則等		教育委員会または学校判断	
徴収方法	口座振替等、児童手当から振替		学校指定口座から振替、現金徴収	
徴収者	自治体（一部は学校）		学校	
監査実施者	監査委員会、議会		教職員、PTA	
情報公開	自治体サイト、広報資料		学校配布物	
1カ月あたり	学校給食費(食材費)		26年度	
	25年度	26年度	国負担	保護者負担
小学校	3,900円	5,700円	5,200円	500円
中学校	4,300円	6,400円	市補助 900円	5,500円

保護者負担の給食費など、支出は給食の食材購入費など)が私費会計だからです。右表の上は全国PTA連絡協議会のホームページにあり、表から分かるように学校給食費とその会計は、市の一般会計から独立し、議会でも審議・監査の対象になっていません。

以前から文部科学省は学校給食費を地方公共団体の会計に組み入れる「公会計制度」を採用するよう働きかけています。

今年度の市一般会計予算では、国(名目は府)の給食費負担軽減府交付金2億8691万円や物価対応臨時交付金2850万円の収入を給食センターへの補助金として支出しています。

学校給食の無償化は憲法26条にある「義務教育は無償とする」の実現であり、保護者や教育関係者の願いで、全国の流れです。木津川市でも中学校給食を含め、学校給食の無償化を議会ですっきり議論ができるように学校給食会計の公会計化は急務です。

給食費の値上げを決めた給食センター運営委員会(25年10月31日)や教育委員会(25年11月25日)の会議録(会議要旨)は市ホームページで確認できます。



委員
会議
録



委員
会議
録

